

武雄市立武雄中学校学校便り

叶 武



NO. 2 平成31年4月19日
〒843-0024
武雄市武雄町大字富岡11606番地
TEL 0954-22-4105
文責 校長 熊野辰未

学校教育目標 「高い志と誇りを持ち、心豊かで輝く生徒の育成」

《第1回学級懇談会及び平成31年度PTA役員選出》

昨日は、お仕事お疲れの所、また大変お忙しい中に第1回学級懇談会にお集まりいただきまして誠にありがとうございました。平成31年度（令和元年度）のPTA役員選出も無事行うことができました。駐車場ではご迷惑をおかけしましたが、運動場が車両でいっぱいになるほど、多くの保護者の方々に参加していただきました。遅くまでお疲れ様でした。2年生、3年生の保護者におかれましては、初めて担任とお会いされたことだと思います。参加率が80%を超える学級もあり、教室が熱気に包まれていました。おかげ様で武雄中学校PTAの平成31年度の本部役員や各専門部の部長・副部長の方々が内定いたしました。5月12日（日）のPTA総会の折に承認の運びとなります。当日は、授業参観も予定しています。多数のご参加をお待ちしております。

《時を守り、場を清め、礼を尽くす》

「時を守る」とは、時間や期限を守ることです。具体的には決められた時刻に遅刻をしない、時間になったら席に着く、宿題や提出物の期限を守るなどです。これらができるということは、「自立している」ことであり、「相手のことも尊重することができる」こととなります。また、時を守れるということは、やがて人からの信用を積み重ねることにつながり信頼される人になるということです。

「場を清める」とは、掃除をていねいに精一杯することです。具体的にはゴミが落ちていたら拾う、脱いだ靴や上履き、トイレのスリッパを揃える、傘をきちんと傘立てに入れる、机やロッカーなどの身の回りを整頓する、使った道具や部屋を元どおりに片付けるなどです。これは、次に使う人や一緒に生活を送る人のことを考えて行動するという思いやりの心や感謝の心につながります。気づく人になれる、心を磨くこととなります。そして、謙虚さや忍耐力も育っていくこととなります。

※ 毎朝のことですが、サッカー部が運動場のトンボかけを、吹奏楽部が管理棟玄関、生徒玄関の清掃を行ってくれています。ありがとうございます。

「礼を尽くす」とは、まずは大きな声であいさつや返事ができるということです。「おはようございます」「ありがとうございます」「はい」などがしっかり言えることは、相手を大切にすることにつながり、良い人間関係を作り**信頼関係を築く**ことになります。また、全校で集まったときは静かにする。人の話は相手の顔を見てしっかり聞く、廊下は静かに歩くなど、その時、その場においてふさわしい行動がとれることも**相手を尊重**することにつながるようになります。

お互いがんばりましょうという気持ちを込めて相手が気持ちよくなるあいさつを心がけましょう。

【あいさつは、あかるく いつも さきに つがけて】

武雄中学校の生徒としての誇りをもって恥ずかしくない気持ちのよいあいさつをお願いしたいと思います。

あいさつには、5つのレベルがあるのでお知らせします。

- 1 笑顔で
- 2 明るく元気よく
- 3 自分から
- 4 立ち止まって
- 5 一言つけて

《1日のスタートは朝ご飯から》

朝食をとると学力がアップする？朝食を食べないで登校してきている人はいないとは思いますが、朝食をとると、脳にエネルギー源であるブドウ糖が供給されます。そうすると、脳が目覚めて動き出し、集中力が高まります。運動面でも持久力がアップします。1日の生活を充実したものとするために、朝ご飯を毎日しっかり食べて登校したいものです。「早寝、早起き、朝ごはん」が、規則正しい生活、心身の健康につながります。

《以春風接人 以秋霜自肅》

「春風（しゅんぷう）をもって人に接し、秋霜（しゅうそう）をもって自ら肅（つつし）む」幕末の儒学者であった佐藤一斎の随想録「言志四録（げんししらく）」の中の言葉です。

「人に対するときは、春風のように穏やかで和やかな心、伸びやかで寛大な心で接し、自分に対するときは、秋の霜のように鋭く烈（はげ）しく厳しい心で律していかなければならない。」という意味です。

私自身は、まだまだ自分のことは棚に上げて、人に対して厳しく接しているような気がします。一日も早く「春風を以って人に接し、秋霜を以って自ら肅む」ようになりたいものです。